

CSRマネジメント

日本ユニシスグループは、経営の透明性・倫理性を高めるため、コーポレート・ガバナンス体制の維持・強化に努めています。また、IT企業として情報セキュリティ対策や事業継続計画策定にも注力しています。

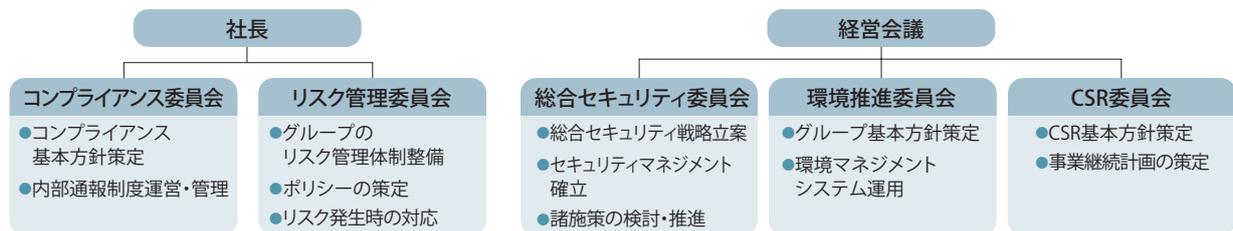
推進体制とマネジメント

コーポレート・ガバナンスの維持・強化のために、コンプライアンスやリスク管理、環境推進、情報セキュリティなど、それぞれの活動に応じた体制を整備しています。

CSR推進体制

業務執行の重要事項を協議・決定する機関として、代表取締役により構成される経営会議を設置し、迅速かつ効率的な意思決定を行っています。また各種委員会を設置し、役割に応じて方針や施策の策定とその推進を行っています。

CSR推進体制図



コーポレート・ガバナンスの強化・充実

日本ユニシスグループは、当社グループの企業行動憲章に従い、コーポレート・ガバナンスの強化・充実に努めています。2006年5月には取締役会において、「内部統制システム構築の基本方針に関する決議」が行われ、7月には金融商品取引法に基づく内部統制評価制度への対応について、経営の意思に基づくグループ全体方針および対応計画の策定と実施を推進するため、「J-SOX プロジェクト部」を設置しました。また国内証券取引所の規則に従い、当社グループのコーポレート・ガバナンスの考え方や体制などを記載した「コーポレート・ガバナンス報告書」も発行しています。

<http://www.unisys.co.jp/csr/guideline.html>
日本ユニシスグループの企業行動憲章
コーポレート・ガバナンス報告書
<http://www.unisys.co.jp/csr/pdf/governance-report.pdf>

コンプライアンスへの対応

2006年度は、「コンプライアンスハンドブック-基礎編-」を改訂するとともに、新たに公正取引編も作成しました。これによって、3種類のコンプライアンスハンドブック(基礎編、情報管理編、公正取引編)をグループ全社員に配布しました。



コンプライアンスハンドブック

また、従来の内部通報制度は、コンプライアンス委員会への直接の通報が原則でしたが、2006年8月から、通報者の匿名性を確保し、社員が制度を活用しやすいようにするために、第三者機関の外部窓口を経由した委員会への通報制度運用も開始しました。

<http://www.unisys.co.jp/csr/compliance.html>
Web コンプライアンス活動

社員への啓発活動

2006年度は、日本ユニシスグループの社員に対し、eラーニングによる各種教育を実施しました。

全社員向け

- ①情報セキュリティ自己監査
- ②個人情報の適正な取り扱い
- ③基礎的なコンプライアンス
- ④事業継続計画
- ⑤環境推進



「基礎的なコンプライアンス」
eラーニング画面

特定社員向け

- ①J-SOX法対応(約2,800名が受講)
- ②個人情報保護の実践(約200名)
- ③環境研修(約350名)

日本ユニシスグループの事業継続計画

日本ユニシスグループは、お客さまの重要な資産である情報システムを構築・運用する企業として、大規模災害発生時でも、お客さまの事業を継続することが社会的責任であると考えています。

サバイバル・ヒントの掲載

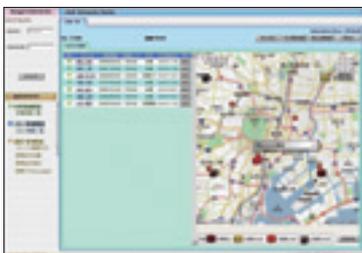
組織としてはもちろんのこと、社員一人ひとりの自律的な行動が重要と考え、災害対応に役立つ情報を「サバイバル・ヒント」として、毎月、日本ユニシスグループのイントラネット上に掲載しています。PCを立ち上げるたびに、最初に画面に表示されるなど、目にとまるための工夫も行っていきます。



新型インフルエンザ情報画面

GPSソリューション 事業継続支援システムの開発と活用

災害発生時には事業継続のための体制確保をサポートするために、ユニアデックスが開発したGPSソリューション「事業継続支援システム」を活用します。本システムでは地図上に表示された顧客情報やサービス要員の情報を見ながら、最適な要員配置・作業指示連絡・進捗管理などが行えます。また、安否確認システムからの要員情報や、火災や倒壊などの災害情報を地図上に表示し、状況に応じた柔軟な体制変更も可能となっています。このシステムはすでに、ユニアデックスで要員管理システムとして運用されています。また、災害対応のソリューションとして商品化を予定しています。



事業継続支援システム画面

徒歩帰宅訓練実施

災害時に備え、会社からの帰宅方面ごとに少人数のグループで徒歩帰宅訓練を行い、個人の対応力強化を図っています。道路や橋などの安全度を確認しながら実際に帰宅路を歩くことで、疲労度も実感でき、確かな備えにつながっています。



徒歩帰宅訓練

eラーニングによる理解度向上

事業継続についての意識を高め、社員一人ひとりの対応力を向上させるため、日本ユニシスグループ社員全員にeラーニングを実施しています。

説明文だけでなく、項目ごとに確認テストを行うなど、事業継続計画の必要性や日本ユニシスグループの方針などについての理解度を高めるための工夫をしています。



eラーニング画面

ユニシス研究会活動支援

ユニシス研究会 (P.15参照) では、2006年「災害復旧と事業継続計画策定研究グループ」を立ち上げました。この研究活動を支援するために、日本ユニシスグループの事業継続計画策定で得られたノウハウを提供し、「災害に強い情報システム」について研究をしていただきました。この研究内容および活動報告書が高く評価され、2006年度ユニシス研究会における審査員特別賞を受賞しました。



審査員特別賞の表彰式